

2020年5月3日 10:00～12:00

5月17日 10:00～12:00

日本パーソナリティ心理学会第136回常任理事会議事録

※新型コロナウイルス感染対策のため、5月3日および5月17日にオンライン方式により第29回大会の開催について審議を行った（一部の委員会報告等を含む）。この両日を併せて第136回常任理事会とする旨を申し合わせた。

出席：渡邊芳之理事長，松田英子副理事長，北村英哉，尾見康博，小塩真司，加藤 司，
森津太子，中村 真，

欠席：向田久美子

※第29回大会準備委員会を代表して高坂康雅委員長が出席した

報告事項

I 委員会報告

1 経常的研究法流委員会報告（小塩委員長）

(1) 2020年度委員構成について以下の通り報告があった。

●委員構成

○ 任期満了年目委員（2020年3月まで）

平野真理（東京家政大学），中井大介（愛知教育大学）

○ 3年目委員（2021年3月まで）

藤本 学（立命館大学），大久保智生（香川大学），桂 瑠依（川村学園女子大学），
永井 智（立正大学）

○ 2年目委員（2022年3月まで）

前川真奈美（一橋大学学生相談室），古村健太郎（弘前大学），水野君平（北海道大学）

【国際交流部会：全員2022年3月まで】

田島 祥（東海大学），高野慶輔（ミュンヘン大学），川本哲也（東京大学），
渡辺忠温（東京理科大学）

○ 1年目委員（2023年3月まで）

喜入暁（大阪経済大学），友野隆成（宮城学院女子大学），長峯聖人（筑波大学大学院）

(2) 3月企画について

新型コロナウイルス感染対策のため中止した旨の報告があった。

(3)大会企画（企画段階）

第 29 回大会での企画について以下の通り報告があった。

【リスク・社会不安について（仮テーマ）】

今回の感染症の問題をはじめとして、人は脅威やリスクに直面した際、適切な行動をとることが中々難しいものです（もちろん何が適切な行動かという問題はあるにせよ）。本企画では、行動経済学的なリスクモデルというよりは、より心理的な部分に注目し「なぜ適切な判断ができないのか」というメカニズムへ焦点を当てられればと思います。

○話題提供候補

福川康之先生 早稲田大学

…感染脆弱性・進化から見た感染恐怖

平山るみ先生 大阪音楽大学

…批判的思考とリスク判断

脇本竜太郎先生 明治大学

…存在脅威管理理論…ただし以前経常でお呼びしたことあり

工藤大介先生 東海学院大学

…震災時の風評被害等

元吉忠寛先生 関西大学

…リスク教育等

○指定討論候補

矢守克也先生 京都大学防災研究所

…震災復興、訓練などの研究をお持ちのベテラン研究者

中谷内一也先生 同志社大学

…リスク認知

審議事項

I 第 135 回常任理事会議事録の件

議事録案が示され、承認された。

II 保留中の各種委員会報告について

新型コロナウイルス感染の影響で喫緊の重要案件のみを審議した第 135 回常任理事会以降、保留中の各種委員会からの報告事項を第 137 回常任理事会において一括報告（追認を含む）してもらうことを申し合わせた。

Ⅲ 第 29 回大会の開催について

- ・渡邊理事長より、新型コロナウイルス感染の影響で多くの学会で大会の延期や中止が相次いでいるが、機関誌発行と年次大会開催が学会の主要な事業であるため、何らかの形で開催したいという意向が示された。
- ・高坂大会準備委員長より、大会予約参加者、ポスター発表予約者等に関する現在の状況が報告され、開催の可否、ウェブ大会開催の可能性などについて出席者全員で様々な視点から検討を行った。
- ・慎重に議論を重ねた結果、第 29 回大会の開催について以下の通り決定した。
 - 第 29 回大会は、従来の対面方式による開催を見合わせ、Zoom を利用したオンライン方式によるウェブ開催とする。
 - ポスター発表、講演、会員総会、理事会等をオンラインで実施する具体的方法については、今後、検討し詳細を決める。
 - 海外からの講演者招聘については、時差を考慮し、録画配信を含めて実施の方向で検討する。
 - 大会発表賞についても、今後、審査方法の詳細を検討する。

Ⅳ 次回常任理事会の日程について

第 137 回常任理事会を 6 月 28 日（日）10:00 よりオンライン方式で実施する。

以上